

SDGs未来都市等進捗評価シート

愛知県豊田市

2020年8月

SDGs未来都市計画名

豊田市 SDGs未来都市計画

1. 全体計画

計画タイトル	豊田市 SDGs未来都市計画		
2030年のあるべき姿	“つながる つくる 暮らし楽しむまち・よた”の実現 「市民」…社会とのつながりの中で安心して自分らしく暮らす 「地域」…魅力あふれる多様で豊かな個性 「都市」…未来を先取る活力を持つ		
2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール	経済 ゴール5 ターゲット5.5 ゴール8 ターゲット8.3、8.5 ゴール9 ターゲット9.4 	社会 ゴール3 ターゲット3.6 ゴール1: ターゲット11.a ゴール1: ターゲット17.17 	環境 ゴール7 ターゲット7.2 ゴール1: ターゲット12.8 ゴール1: ターゲット13.3 ゴール1: ターゲット15.4 

	#	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2030年	進捗状況や課題等（定性指標や補助指標等を含む）
優先的なゴール、ターゲットに関するKPI	1	家事の夫婦の役割分担の現状 「家事全般を夫婦共同で行う」と回答した人の割合（市民意識調査）	2013年度 21.2 %	2030年 30 %	【2019年度実績値】25.6% 【課題等】割合は前回調査より高くなっているが、役割分担の「理想」についての回答では「共同で行うのがよい」と回答が74.6%となっており、理想と現状に乖離があることが課題となっている。 ※5年に1度の調査であるため、2018年度調査実績と同内容を掲載
	2	新製品、新技術等開発の取組件数（累計）	2018年3月 9 件	2030年 70 件	【2019年度実績値】30件 【課題等】引き続き、補助金による支援や、市内企業の弱みであるアイデア創出力等を補完するマッチング事業を展開し、新製品等の開発を支援していく。
	3	女性しごとテラスにおける就職件数	2018年3月 1 件	2030年 100 件	【2019年度実績値】116件 【課題等】引き続き、認知度向上と、利用者が就職決定に至るまでの支援力の強化に努める。
	4	就労支援室における就職件数(年間)	2018年3月 292 件/年	2030年 290 件/年	【2019年度実績値】304件 【課題等】若年者、シニアなど多様な求職者のニーズに対応できるよう、引き続き、体制強化に努める。
	5	中核製材工場における原木取扱量（年間）	2018年 新規	2030年 45,000 m ³ /年	【2019年度実績値】31,704m ³ /年 【課題等】路網等、生産基盤の整備を進め、木材流通量を増加させていく。また、引き続き、ウッドイヤー豊田や森林組合等の地域材関連団体と連携し、流通体制の構築を図る。
	6	農工商連携取組件数及び6次産業化認定事業者数の件数	2018年3月 31 件	2030年 45 件	【2019年度実績値】50件 【課題等】6次産業化の動機付けを継続して支援することに加え、農工商連携・販路拡大支援等の積極的な出口支援をビジネススクールや商談会を通して行う。
	7	先進技術実証 新規の実証事業（交通まちづくり・つながる社会実証）	2018年3月 交通まちづくり 4件 つながる社会実証 8件	2030年 毎年度 計3件	【2019年度実績値】11件 引き続き技術や社会受容性、安全性などの検証のための実証実験を推進する。

	#	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2030年	進捗状況や課題等（定性指標や補助指標等を含む）
優先的なゴール、 ターゲットに関する KPI	8	交通安全の意識が高まった高齢者の数（市啓発分）	2018年3月 13,293 人	2030年 毎年度5,000人以上	【2019年度実績値】11,794人 【課題等】目標値を上回る数の高齢者の交通安全意識が高まった。今後も情勢に合った啓発を続けることで、目標を達成できる見込み。
	9	都市と山村の交流コーディネート件数（累計）	2018年3月 48 件	2030年 累計560 件	【2019年度実績値】72件 【課題等】SDGs達成に向けた企業の動きが活発化していることや大学のスタディツアー等のマッチングが好調である。コロナ禍でしばらく多人数による交流の縮小が見込まれる引き続きつなぐことによる課題解決を推進していく。
	10	山村地域へ移住・定住者数（市支援分）	2018年3月 229 人	2030年 260 人	【2019年度実績値】133人 【課題等】空き家情報バンクの利用希望者数に比べて、供給できる登録物件が不足していることから、地域と連携しながら登録物件を増やしていくことが求められる。
	11	豊田市つながる社会実証推進協議会 会員数（累計）	2018年5月 52 団体	2030年 3団体/年 加入	【2019年度実績値】73団体（新規加入団体数 8団体） SDGsの活動拠点の1つである協議会への登録企業数は順調にのびている。今後、SDGsを踏まえた取組を推進していく。
	12	再生可能エネルギーの総発電能力量（市導入・関与分）	2018年3月 88,997 kW	2030年 110,000 kW	【2019年度実績値】104,332kW 目標通りに推移しており、補助金や減税等の取組を継続実施する。 また、木質バイオマスや小水力発電などの再生可能エネルギー発電設備の整備検討によって更なる発電能力量の増加も目指す。
	13	環境配慮行動に取り組んだ世帯数（市事業分）	2017年3月 31,536 世帯	2030年 58,700 世帯	【2019年度実績】31,049世帯 ポイント制度の利用世帯数の動向からみて、より多くの市民を環境配慮行動へ巻き込んでいくため、より使いやすいようなポイント制度を大きく見直ししていく。また、日常における環境行動のテーマとして、「食品ロス削減」を推進し、食べきり協力店と連携したSDGsポイントの発行やエコト等での講座を開催する。
	14	広域連携及び先進技術実証事業の件数（累計）	2018年3月 8 件	2030年 20 件	【2019年度実績値】広域連携5件＋先進技術10件＝15件 広域連携：西三河首長誓約推進協議会を中心に事業の検討、実施を行っている。 先進技術：引き続き、新規会員、実証を募り、協議会の活性化、ビジョンに基づく直近10年間の取組を具体化するため、WGの活動を進める。
	15	人工林の間伐実績面積（年間）	2018年3月 969 ha/年	2030年 1,200 ha/年	【2019年度実績値】821ha 【課題等】森林環境譲与税の活用による財源確保及び森林整備を支える人材の確保・育成を行い、間伐を推進する。

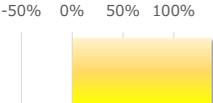
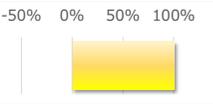
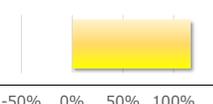
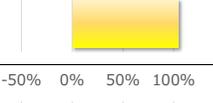
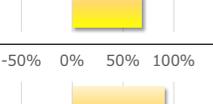
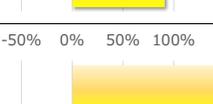
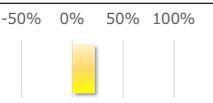
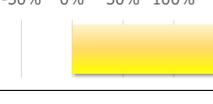
1. 全体計画

行政体内部の推進体制	自治体SDGsの情報発信・普及啓発の取組状況・課題	有識者からの取組に対する評価
<p>■各種計画への反映状況や課題 【第8次豊田市総合計画】 前期実践計画（2017-2020）、後期実践計画（2021年—2024年）からなる8年間の計画。 前期実践計画をSDGs未来都市計画のアクションプランと位置付けており、2018年度に前期実践計画事業に対し、SDGsとの関連付けを実施。後期実践計画では、とよたSDGsパートナーを中心とした企業・団体との普及啓発事業に加え、市民主体のSDGs行動促進につながる指標を含めて策定する。 【総合計画に運動する部門計画】 各種、部門計画については、改定のタイミングにあわせて、関係部署がSDGs視点を踏まえた計画となるよう注力し、計画へ反映。必要に応じ、外部有識者等の助言や提言も参考にしていく。 ■行政体内部の執行体制及び首長のリーダーシップ 庁内の横断的・統合的なSDGs推進のため、首長を本部長とした未来都市推進本部会議を設置。当市が有するプラットフォームを活用しながら、市民、企業、学術機関、団体、近隣自治体、国際関係機関等、多様なステークホルダーを巻き込みながら推進を目指す。</p>	<p>■域内向け 職員対象・・・全職員対象E-ラーニング、SDGsカードゲームを活用した新人研修、SDGsデザインポロシャツ作成・業務中の着用を通じてSDGsの理念や概念を理解を図った。また、とよたSDGsパートナーと各課業務のマッチングを行い、事業の共働を促すと共にさらなるSDGsの取組を推進した。 市民・企業対象・・・市内充電設備及び公共バスへ「SDGs未来都市とよた」ステッカー貼付、燃料電池バスSORAへSDGsラッピングを実施。普及啓発ツールとして豊田市産材を使用した木製SDGsストラックアウト、SDGsフォトブース、SDGsサイコロをイベント等で活用し、SDGsに触れる機会と理解促進の場を提供（産業フェスタ、エコプロ2019出展等） ・12/14-15SDGsイベント「Think SDGs」を開催（一般700人）。SDGs関連ワークショップやとよたSDGsパートナー協力による抽選会、日本科学未来館@会場とICTを活用した遠隔授業を実施。 ■域外（国内）向け ・SDGs発信拠点「とよたエコルタウン」のリニューアル ・RWC2019™を契機とした来訪者をターゲットとするPRを実施（ファンゾーンイベント、燃料電池バスSORA活用等） 【今後】SDGsをパートナーと共に広域かつ分野横断的なPRや取組を展開し、市民レベルのSDGs認知度向上や行動促進へとつなげる。 ■海外向け ・SDGs普及啓発冊子及びエコルタウンガイドブックの英語版を作成し、名古屋入国管理局での配架やRWC2019™関連イベントでの配布を実施 ・欧州連合国際都市間協カプロジェクト（IUC）の一環としてリュッセル会議2019（2019年11月19日～21日）へ参加し、豊田市の取組や今後の展望を発表</p>	<p>■二大プラットフォーム間の連携（先端技術実証と都市農村部関係の連携）をより進めていけると良いのではないか。電気自動車の中山間利用は良い方向性であると評価できる。 ■おいでん・さんそんセンター等素晴らしい取組であるため、自律的好循環形成に結び付けるようなモデルとなるよう進めることを期待する。 ■「SDGsハブ都市会議」は、他都市の模範となるのではないかと思料する。 ■豊田市の特徴となる都市と農村、先端技術とものづくり等をつなぐ具体的な戦略が期待される。現在のKPIの設定は、シンプルであるため、各事業の掛け算のKPIの設定が望まれる。 ■すでに達成しているKPIが多いが、目標の練り直しをすべきである。必ずしもアウトカムとなっていない指標もあるように感じられ、目標レベルが低かったのではないかと懸念がある。 ■「教育文化の拠点」や「海洋文化の拠点」に関するKPIが、SDGsの考えにマッチしていない。また、「一人一日当たりのごみ総排出量」、「排水基準遵守率」、「ロジスティクス関連企業立地件数」に関しては、通常の政策のKPIである。り、SDGsに沿ったKPIの検討が望まれる。 ■採択事業件数だけでなく、具体的な取組の水準を評価できる指標を検討することも必要であると思料する。研修受け入れや交流人口について評価することも有効である。 ■新規実証事業や交流コーディネーター事業を分類化し、評価の対象とする。総合特区や環境未来都市モデル事業との連携も、明らかにすることが期待される。 ■普及啓発ヘカを入れ、「イベント入込数」等のKPIが達成されることを期待する。 ■2つのプラットフォームやステークホルダーとのパートナーシップが、「経済・環境・社会」の3側面の取組と、どのように連携するかを説明することが望まれる。 ■都市と農村との連携交流が豊田市の課題である中で、総合特区やモデル都市を進めてきたスマートモビリティ、スマート住宅を発展する先進技術実証事業と、都市山村交流コーディネーター事業が連携する取組を誘導する仕組みを期待する。 ■都市部での実証実験は多いが、地方/農村部と、都市部や先進技術とのつながりが明らかでない。地域課題を解決するために、先進技術をどう活かすかという視点が必要である。 ■地域会議から出てきた地域の課題の解決よりビジネスの創出につながる事例を期待する。 ■トヨタ自動車との連携は今後前向きに進めることを期待する。 ■豊田市政の特徴である地域コミュニティづくりとの連携が必要であると思料する。 ■総合計画の5つの柱に対して、それぞれの具体的な取組を期待する。</p>
<p>■ステークホルダーとの連携</p>	<p>■地方創生・地域活性化への貢献</p>	
<p>■地域内の連携 1 二大プラットフォームの連携 ○豊田市つながる社会実証推進協議会・・・ 2020年3月末時点で73団体、新規実証10件。 ○おいでん・さんそんセンター・・・ 2019年度都市と山村の交流コーディネーター件数 72件 2 学術機関（大学・高専等の高等教育機関）との連携・・・ 各大学との連携実績 愛知学泉大学 21件、愛知県立芸術大学 12件、愛知工業大学 33件、中京大学 52件、日本赤十字豊田看護大学 20件、豊田工業高等専門学校 30件 3 とよたSDGsパートナーとの連携 豊田市とパートナーが、SDGsゴールや豊田市の地域課題の解決に向け、連携し、持続可能な取組や活動を推進するとともに、SDGsの普及啓発を図ることを目的としたとよたSDGsパートナーを発足。2019年3月末時点で126団体が登録。 ■自治体間の連携（国内） 地方創生SDGs官民連携プラットフォームを通じた情報収集やメルマガを活用した情報発信、県の実施するSDGs関係会議への参加、豊田市への問合せやとよたエコルタウンへの視察対応の際の情報交換。 ■国際的な連携 ・「EU国際都市間協カ（IUC）プロジェクト」のスタディツアーとして5/14～5/16パートナー都市グルノーブル（フランス）を受入れ。 ・11/27～29@富山市 環境省・IGES主催「低炭素社会実現のための都市間連携事業」研修、2/3～4@三重県 IGES主催「低炭素社会の構築に向けた都市間連携推進ワークショップ」に参加し、取組発表。</p>	<p>今後は、SDGsの取組成果をできるだけ「可視化」し、分野横断連携へつなげる仕組みを検討する。また以下の5つの課題に対し、SDGs未来都市計画における豊田市のSDGs推進2大プラットフォーム（豊田市つながる社会推進協議会、おいでん・さんそんセンター）をはじめとした各拠点及びとよたSDGsパートナーとの連携、取組の強化を図りながら、各項目のとおり貢献する。 1 超高齢社会の進展 ・都市と山村部の共存や、高齢化の加速による社会課題の解決に向けて、新製品・技術等の開発、山村地域の資源活用機会を創出する ・都市と山村間における良好なつながりによる超高齢社会への適応 2 産業構造の大転換 ・次世代自動車の開発拠点としての技術やノウハウを生かし、ものづくりをリードする ・地域資源を活用した産業の多角化の推進 3 大規模自然災害等のおそれ ・先進技術実証を生かしたエネルギーの地産地消や再エネ活用等による二酸化炭素排出量削減 ・市民や事業者それぞれのスタイルに応じた環境配慮行動の促進 4 厳しさを増す財政状況 ・地域資源を活用した産業の多角化推進 ・活発な市民活動や企業のCSR活動を活かし、交通安全の推進や健康寿命延伸など社会課題への対応と生きがい増進 5 人・地域・技術の有機的なつながりの不足 ・多様な人や企業の活動と連携の推進（自助・互助・共助）</p>	

SDGs未来都市等進捗評価シート

2018年度

1. 全体計画

取組名	ターゲット	指標名	当初値	2019年	2020年	達成度 (%)	進捗状況や課題等 (定性指標や補助指標等を含む)
① 地域資源・人材・技術を生かした多様なビジネスの創出	5.5	女性の活躍を支援する取組が役立ったと感じた参加者の割合 (市実施分)	2018年3月 75 %	2019年度 96 %	2020年 70 %を維持	 137%	(現状値/目標値の計算式を使用) 女性ライフプランに関する取組で講座を開催し、2019年度の講座開催回数は合計29回、参加者は延べ281名の参加があった。アンケート回答者269名のうち96%が役に立ったと回答があり、目標を大きく上回った。
	8.3	新製品、新技術等開発の取組件数 (累計)	2018年3月 9 件	2019年度 30 件	2020年 30 件	 100%	引き続き、補助金による支援や、市内企業の弱みであるアイデア創出力等を補完するマッチング事業を展開し、新製品等の開発を支援していく。
	8.5	女性しごとテラスにおける就職件数	2018年3月 1 件	2019年度 116 件	2020年 100 件	 116%	引き続き、認知度向上と、利用者が就職決定に至るまでの支援力の強化に努める。
	8.5	就職支援室における就職件数 (年間)	2018年3月 292 件/年	2019年度 304 件/年	2020年 290 件/年	 105%	(現状値/目標値の計算式を使用) 若年者、シニアなど多様な求職者のニーズに対応できるよう、引き続き、体制強化に努める。
	15.4	人工林の間伐実績面積 (年間)	2018年3月 969 ha/年	2019年度 821 ha/年	2020年 1,200 ha/年	 68%	(現状値/目標値の計算式を使用) 森林環境譲与税の活用による財源確保及び森林整備を支える人材の確保・育成を行い、間伐を推進する。
	15.4	中核製材工場における原木取扱量 (年間)	(2018年新規) 新規 m/年	2019年度 31704 m/年	2020年 35,000 m/年	 91%	(現状値/目標値の計算式を使用) 路網等、生産基盤の整備を進め、木材流通量を増加させていく。また、引き続き、ウッドイラー豊田や森林組合等の地域材関連団体と連携し、流通体制の構築を図る。
② まちといなかの魅力、人のつながり、生きがいの創出	9.4	先進技術実証 新規の実証事業 (交通まちづくり・つながる社会実証)	2018年3月 交通まちづくり 4 つながる社会実証 8 件	2019年度 交通まちづくり 5 つながる社会実証 6 件	2020年 毎年度計3 件	 183%	(現状値/目標値の計算式を使用) 引き続き技術や社会受容性、安全性などの検証のための実証実験を推進する。
	11.a	都市と山村の交流コーディネート件数 (累計)	2018年3月 48 件	2019年度 72 件	2020年 160 件	 21%	SDGs 達成に向けた企業の動きが活発化していることや大学のスタディツアー等のマッチングが好調である。コロナ禍でしばらく人数による交流の縮小が見込まれる引き続きつなぐことによる課題解決を推進していく。
	11.a	豊田市つながる社会実証推進協議会の会員総数	2018年5月 52 団体	2019年度 73 団体	2020年 61 団体	 233%	SDGsの活動拠点の1つである協議会への登録企業数は順調にのびている。今後、SDGsを踏まえた取組を推進していく。